

ひょうご橋守隊

1 『ひょうご橋守隊』とは

道路橋点検士、技術士やコンクリート診断士等の資格を有するなど、道路橋に関する高度な技術力を有する県土木技術職OBによるボランティアで活動をしています。

【背景】

老朽化した社会資本の急速な増加は、我が国全体の大きな問題となっています。

しかし、県内の市町においては、技術職員の不足や厳しい財政状況により、早急な補修対策が極めて困難な状況にあります。

【目的】

このため、公益財団法人 兵庫県まちづくり技術センターでは、県内市町を総合的に支援する公的機関として、市町インフラ老朽化への支援体制を強化することを目的に『ひょうご橋守隊』を創設しました。



『ひょうご橋守隊』発足式 (H27年3月11日)

2 支援概要

市町においては、5年に1回の定期点検により損傷が認識された橋梁は、長寿命化修繕計画に基づき計画的な修繕や架替えを予定しています。

しかし、計画的な修繕や架替えを行うまでの間、橋梁の安全性を確保することが必要となります。

そこで、『ひょうご橋守隊』を派遣し、損傷状況の経過観察を無償で代行することにより、市町が管理する橋梁の適切な維持管理を支援しています。

橋梁の状況	健全度10未満
点検頻度	5年／対策まで1年
1年	定期点検
2年	経過観察
3年	経過観察
4年	補修対策 点検確認
5年	↓ 2年
6年	定期点検

『ひょうご橋守隊』による支援頻度のイメージ

ひょうご橋守隊による支援

3 活動状況

平成27年度は、右表の10町（106橋）に対し、4班体制（1班4人）で計20回現地に出向き、経過観察を行いました。

今年度は、「ひょうご橋守隊」の隊員を22名に増員して、比較的職員数の少ない市を追加し、15市町（237橋）に対して活動しています。



【『ひょうご橋守隊』活動状況】



市川町にて(H27年7月)

市 町 名	H27 観察橋梁数	H28 観察橋梁数
豊岡市	—	60
養父市	—	40
川西市	—	11
加西市	—	21
西脇市	—	8
稲美町	6	1
播磨町	4	4
神河町	8	7
市川町	29	28
福崎町	8	6
香美町	5	13
太子町	4	4
上郡町	8	6
佐用町	29	27
多可町	5	1
計	106	237

活動実績橋梁数一覧



公益財団法人 兵庫県まちづくり技術センター
Hyogo Construction Technology Center for Regional Development

4 活動成果

『ひょうご橋守隊』は、特に、下記のような橋梁については、直ちに報告します。対策の判断が困難な場合は、技術顧問制度を活用し、専門的な指導や助言を行います。

- ・明らかに通行の安全性が確保できないもの
- ・深刻な劣化が急速に進行しているもの

昨年度の活動において、経年劣化による腐食やひび割れ等若干の進展は見られましたが、多くの橋梁の安全を確認することができました。

しかし、3町の3橋においては、定期点検時点と比べ急速に劣化が進展しており、応急対応が必要であると町に報告し、応急対策をしていただきました。



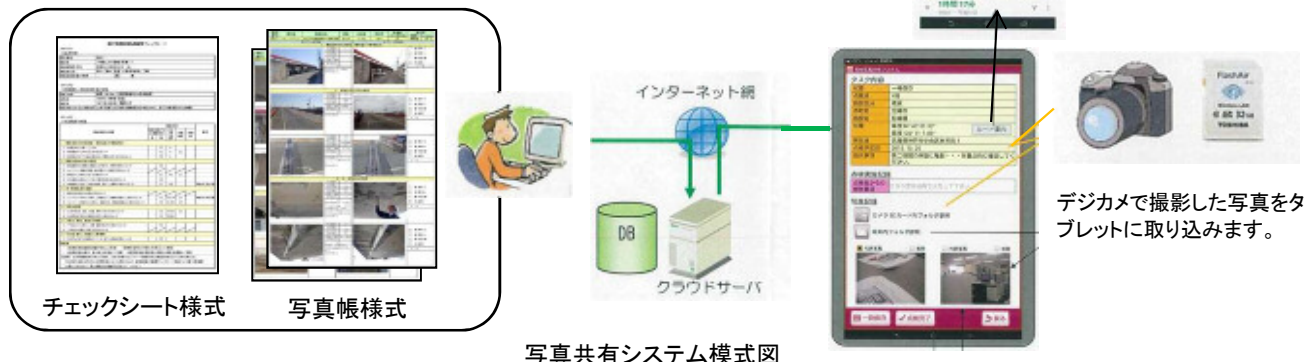
インフラメンテナンス グッドプラクティスの報告資料

〇この活動は国土交通省の『インフラメンテナンス グッドプラクティス』に選ばれました。

5 今年度の新たな取組

今年度は、「ひょうご橋守隊」の活動をより円滑かつ効率的に行うためタブレットを活用した経過観察に取り組んでいます。

今後、この取組が円滑に行えるようであれば橋梁定期点検に活用させたいと考えています。



6 連絡先

担当課：まちづくり推進部 市町計画課
 連絡先：【TEL】 078-367-1228
 【FAX】 078-367-1229
 【E-mail】 shichou_info@hyogo-ctc.or.jp

「市町支援」強化施策の三本の矢

一本目：橋梁定期点検（地域一括発注）業務の実施

各市町から受託後、橋梁点検部分をセンターが一括発注し、診断をセンターが直接実施する。これにより、コスト縮減、点検結果の品質確保を図る。

二本目：『ひょうご橋守隊』による経過観察

損傷橋梁を補修するまでの間、橋の安全性を確保するため、損傷の進行状況を確認する。

三本目：ワンストップ相談窓口の運営

インフラ老朽化対策やまちづくりに関わる疑問等について、センターが窓口となり対応する。



公益財団法人 兵庫県まちづくり技術センターとは

- ・兵庫県の安全・安心な社会基盤整備を総合的に支援することにより公共の福祉に寄与することを目的とした、高度な技術力と豊富な実績を有する公益財団法人
- ・平成8年4月の設立で出捐は兵庫県及び県内全市町